

## 熱海市立泉小学校3年生のクレーレ見学

「総合的な学習の時間」の授業で熱海市立泉小学校の3年生8名がクレーレ熱海ゆがわら工房の見学に来てくれました。この日はあいにくの雨模様でしたが、ステンドグラス・陶板レリーフのアトリエをじっくり見学。ステンドグラス見学では、全員がガラスカットに挑戦。工房スタッフの指導のもと、はじめてにもかかわらず、8名全員が見事な手さばきでガラスカットに成功。陶板の見学では、陶ができるまでの説明や陶を焼く大きな窯を見てもらいました。最後に生徒さんからの質問を工房スタッフが答えるというインタビューが行われ、みんな熱心にメモを取っていました。この8人の中に将来アーティストになる人がいたら、いつの日か作品制作の為に、是非工房を再訪してください。待っています！

### <小学生からの質問>

#### 1)ガラスはどうやって作るのですか？

ドイツやアメリカのガラス工房で、職人さんがガラスの元になるものを棒の先につけて膨らませます。膨らんだ大きなビンのようなものを切って平らにして板ガラスができます。

#### 2)クレーレの意味はなんですか？

ラテン語で「つくる」という意味です。

#### 3)ガラスは何種類あるんですか？

3000種類くらいあります。工房には現在500種類くらいあります。色によって値段が違います。

#### 4)ガラスを切る時怖くないですか？

最初は怖かったけど今は慣れました。今でも怪我をしないように気をつけながら切っています。

